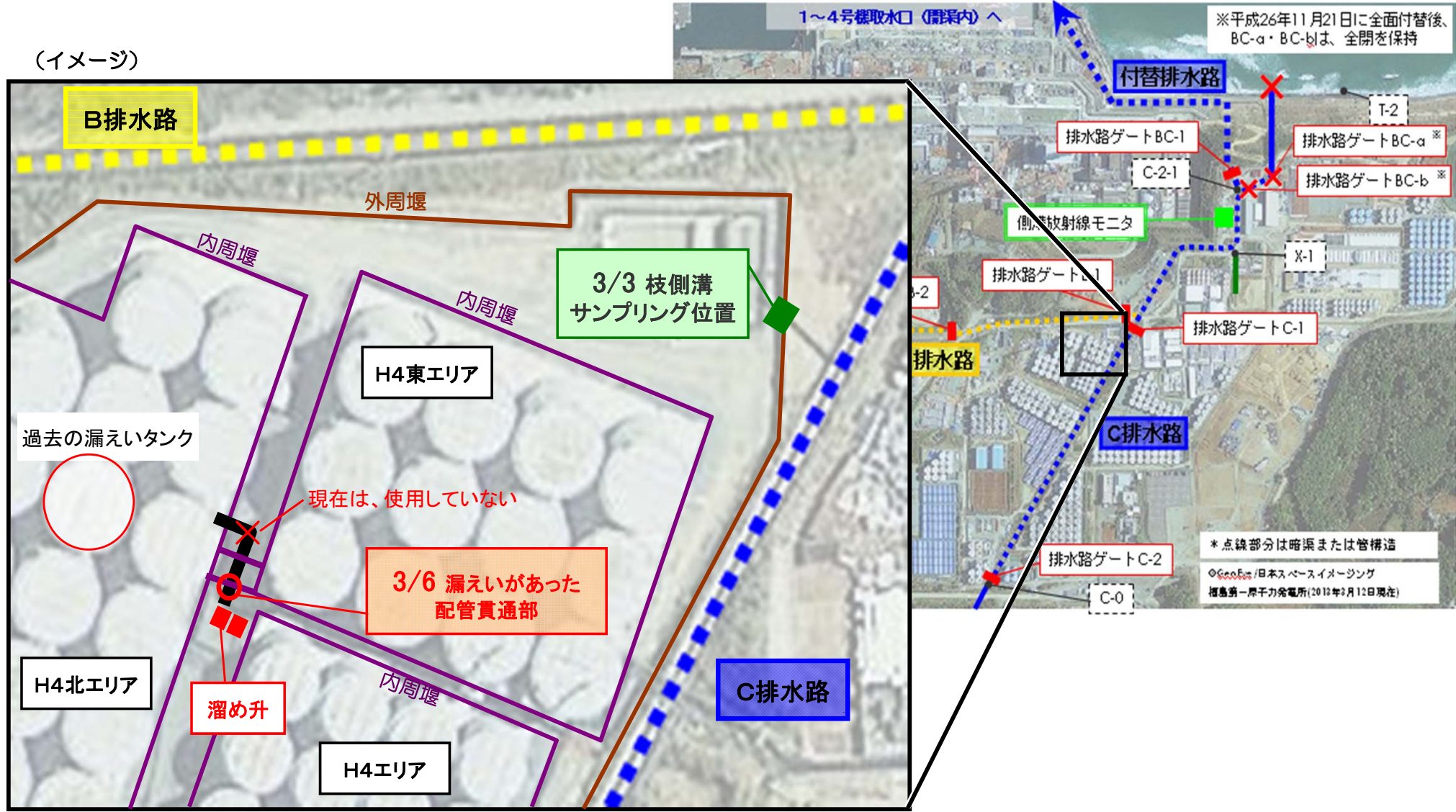


福島第一原子力発電所

H4東エリア内堰内から外堰内への雨水漏えいについて

< 参考資料 >
平成27年3月6日
東京電力株式会社



<概要>

●平成27年3月6日

- 9:00頃 H4東エリア内周堰(北西側)の配管貫通部から、堰内溜まり水がにじんでいることを当社社員が確認
- 9:30頃 配管保温材を外したところ、鉛筆芯1本程度の漏洩を確認
～ H4東エリア堰内から、パワープロベスター(バキューム車)による堰内溜まり水を汲み上げ
- 10:18 堰内水位が低下したことにより、漏洩が停止したことを確認
その後、配管貫通部をコーキング(止水剤)による止水処理を実施

<確認状況>

- 漏えい水は、外周堰内の漏えい箇所付近に設置している溜め升(約50cm×約50cm)内にたまっており、水の深さを約10cmと仮定し、漏えい量は約25リットルと推定。
- 漏えい水の全ベータ放射エネルギーは、約40,000[Bq]と評価。
- 漏えい水は溜め升内に留まっていること、溜め升から側溝まで流れた形跡がないこと、C排水路につながる止水弁は、3月4日から「閉止」していたことから、C排水路への流出はない。

<堰内溜まり水の分析結果>

●H4東エリア堰内溜まり水(3月5日採取)

- ・全ベータ : 1,600[Bq/L]
- ・セシウム134 : 検出限界値未満 (検出限界値 : 5.4[Bq/L])
- ・セシウム137 : 検出限界値未満 (検出限界値 : 8.7[Bq/L])